

国際防災・人道支援

新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル ～新たな課題とその対応～

フォーラム 2021

International Disaster Reduction Alliance Forum (DRA Forum 2021)

日時 令和3年(2021)年

1月26日(火) 13:30~16:30

場所 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

(神戸市中央区港島中町 6-10-1) ※ポートライナー「市民広場」駅下車スグ

別途YouTubeでの視聴可能

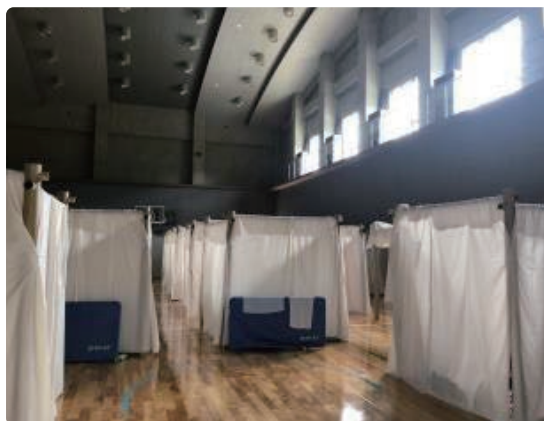
70名

参加費無料

日英同時通訳

国際防災・人道支援フォーラム実行委員会は、毎年1月、国連等の国際機関や国内外の政府関係者等を講演者として招き、国際防災・人道支援フォーラムを開催しています。

コロナ禍の今年度は、WHO関係者等を論者に招き、新型コロナウイルス感染症対応優等生の国々の対応を学ぶとともに、同感染症蔓延時の大規模な自然災害発生という複合災害に対する課題や対応方策について考え、自然災害多発国日本の知見として国内外に広く発信するフォーラムを実施します。



感染症対策を行った避難所 (人吉市)

プログラム

13:30 ~ 開会あいさつ

五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会 (DRA) 会長 / (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長
井戸 敏三 兵庫県知事
中尾 晃史 内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (普及啓発・連携担当)

基調講演①



〈※オンライン参加〉

「アジア太平洋地域の COVID-19 の
現状と今後の展望」

野崎 慎仁郎
WHO西太平洋地域事務局事務局長室管理官 (法務・危機管理担当)

基調講演②



〈行政の視点から〉

「想像力の欠如に陥らない防災」
新型コロナ共存時代の自然災害への対応」

岩田 孝仁
静岡大学防災総合センター特任教授

パネルディスカッション

「新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル」

《ファシリテーター》河田 恵昭 人と防災未来センター長
《パネリスト》岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター特任教授
中山 伸一 兵庫県災害医療センター長 (災害医療の視点)
阪本真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策科教授 (災害ボランティアの視点)
高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 (避難所運営の視点)

~ 16:30 総括・閉会

河田 恵昭 国際防災・人道支援協議会 (DRA) 会長代理 / 人と防災未来センター長

参加方法

1

会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込みください。

<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forumentry/>

※定員70人に達し次第、
募集を締め切ります。

会場参加申込フォーム ▶



2

YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeでの同時配信をご覧ください。

<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forum2021/>

※1月23日(土)から資料
をダウンロードできます。

YouTube同時配信視聴 ▶



新型コロナウイルス感染症の拡大により、プログラム変更、会場参加の中止等の可能性があります。予めご了承ください。

※ 会場参加の場合はマスクの着用をお願いします

人と防災未来センターのホームページ <https://www.dri.ne.jp/>

Please visit the DRI Web site [【https://www.dri.ne.jp/】](https://www.dri.ne.jp/) for the registration.

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

問合せ先 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

後援 朝日新聞社、神戸新聞

(人と防災未来センター普及課)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 6 階

電話: 078-262-5066 FAX: 078-262-5082



登壇者 プロフィール

【基調講演1】



野崎 慎仁郎 WHO 西太平洋地域事務局 事務局長室管理官(法務・危機管理担当)

昭和60年に二松学舎大学文学部卒業後、日本赤十字社に入社。外務省欧亜局ロシア課旧ソ連支援室にて旧ソ連に対する保健医療分野の人道支援を担当。2009年2月、長崎大学国際連携研究戦略本部副本部長、教授に就任。その後、厚生労働省の命を受け、2011年7月からWHOに出向。世界保健医療人材連合にて、議長(厚生労働省国際保健担当審議官)のリエゾンとして4年の勤務の後、2015年7月から神戸センターにて上級顧問官として同センターの改革に取り組む。2019年5月から現職。

【基調講演2】



岩田 孝仁 静岡大学 防災総合センター特任教授

1979年に静岡大学理学部地球科学科卒業、静岡県庁に入庁し一貫して防災・危機管理行政を担当。危機管理監兼危機管理部長を最後に退職し、2015年から静岡大学教授、2017年から防災総合センター長、2020年から現職。日本災害情報学会理事、日本災害復興学会理事、中央防災会議の専門調査会や内閣府の火山防災エキスパート、内閣府、消防庁など政府の各種委員、静岡県防災会議委員などを務める。2020年9月に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。専門は防災学・防災行政学。

【パネルディスカッション・コーディネーター】



河田 恵昭 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長代理

関西大学社会安全学部特別任命教授(チェアプロフェッサー)・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞受賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞、17年アカデミア賞、18年神戸新聞平和賞受賞。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。

【パネリスト】



中山 伸一 兵庫県災害医療センター長・神戸赤十字病院副院長

1980年神戸大学医学部、1989年同大学院医学研究科卒業。米国クリーヴランドクリニック研究員、神戸大学病院救急部、同大学院災害・救急医学分野助教授、兵庫県災害医療センター副センター長を経て2012年から現職。国内外での災害対応の他、兵庫県新型コロナウイルス入院コーディネートセンターでも活動。日本DMAT研修の西日本総責任者。第14回アジア太平洋災害医学会、第25回日本災害医学会を神戸で開催。

【パネリスト】



阪本 真由美 兵庫県立大学大学院 減災復興政策科教授

京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士(情報学)。国際協力機構(JICA)、人と防災未来センター、名古屋大学減災連携研究センターを経て現職。ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会委員、内閣府地区防災計画アドバイザー、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)理事など。専門は、災害リスクコミュニケーション、防災教育、国際防災。

【パネリスト】



高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員

1998年福井県立大学看護短期大学部、2017年北里大学大学院看護学研究科卒業。大阪府立千里救命救急センター(現 大阪府済生会千里病院)、川口市立医療センターに看護師として勤務後、2018年より現職。アルジェリア地震、ネパール地震、東日本大震災 等、国内外における災害医療活動経験が豊富。2018年7月豪雨では、日本災害医学会医療コーディネートサポートチームとして倉敷市、三原市で活動。2020年「避難所開設での感染を防ぐための事前準備チェックリスト」をまとめた。